

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙写真は、2 J A 女性部
夏期交流会で室内ゲームを当 J A 大
会議室で行った際の集合写真です。
詳細は7ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※平成29年度
池田町家畜品評会
- ※第7次農業振興計画
検討委員会を設置
- ※しょくいくつうしん
- ※第2回みのり塾開講
- ※21NEWSアラカルト
シリーズ
協同組合と報徳
- ※金融共済課より
- ※店舗より
- ※生産資材課より
- ※JAグループ通信
- ※畜産部通信
- ※未来人
- ※今月の1枚
- ※理事会の動き
- ※編集後記

2017.

7
JULY

No.091

平成29年度 池田町家畜品評会



審査の様子

平成29年度 池田町家畜品評会成績表

出陳区分		最高位、準最高位	1等1席	1等2席	肉：審査員賞
肉牛の部	未経産	1部（黒毛和種） 10ヵ月以上13ヵ月未満	102 ゆみか 千代田／多田将平		審査員賞 301 ばなな 千代田／樋口圭洋
		2部（黒毛和種） 10ヵ月以上15ヵ月未満	205 ちかほ 利別／高橋直人		
		3部（黒毛和種） 13ヵ月以上15ヵ月未満	306 あさひ 常盤／神田博文		
		4部（黒毛和種） 15ヵ月以上18ヵ月未満	409 みはや 清見／多田隆弥	401 ひかる 昭栄／市川浩吉	
		5部（黒毛和種） 18ヵ月以上24ヵ月未満	502 はやひさかつ 東台／清水孝悦		
	経産	6部（黒毛和種） 48ヵ月未満	601 あろえ 信取／(有)大塚牧場		
		7部（黒毛和種） 48ヵ月以上	702 ゆうり 千代田／武田大治		

※ 審査員 山中 格氏（十勝農協連酪農畜産課）

※ 肉牛の優勝旗は、未経産最高位牛と経産最高位牛から審査員が選出し授与。（選出のための部は設けない。）

※ 肉牛の審査員賞は、最高位（2頭）以外の牛から審査員が選出し授与。（選出のための部は設けない。）

6月7日、平成29年度池田町家畜品評会が常設品評会場で開催され、肉牛の部において多田隆弥さん（清見地区）出品の「みはや」が最高位を受賞されました。多田さんは「品評会へ牛を出すようになったのは3年前からで、結果がなかなか振るわないでいた中、今回このような賞に選ばれて非常に光栄です」と話してくれました。

当日は天候にも恵まれ町内から肉牛36頭（前年37頭）が出品され、部門ごとに発育の良さ・体格などが競われました。



多田隆弥さんの「みはや」 未經産の部 最高位



清水孝悦さんの「はやひさかつ」 5部 1等1席

出品の無い生産者の方も多数駆けつけてくださり、上位牛を予想する審査競技などの催しも行われました。審査終了後の懇親会では焼き肉、うどん（寿楽の息子より）が振る舞われ交流が深められました。

今回上位入賞の牛たちは、「第48回十勝総合畜産共進会」（7月20日、7月21日開催予定）への出品が予定されており、更なる活躍を目指して今後も調教が進められます。

当JAを代表し出品される皆様



武田大治さんの「ゆうり」 経産の部 最高位

方におかれましてはお忙しい中、調教等大変と存じますがよろしくお願いたします。

また組合員の皆様におかれましては、会場へ足を運んでいただき応援して下さいますようよろしくお願いいたします。

品評会は単に優劣を競うだけでなく、技術を磨き仲間意識を高める場でもあります。今後の共進会活動を通じて、池田町の更なる家畜改良を目指して取り組んでまいります。

（記事・畜産課 岩城 誠）



最高位を受賞した多田隆弥さん

優勝旗授与について

出 陳 番 号	
肉牛	409 み は や 清 見 多 田 隆 弥

第7次農業振興計画検討委員会を設置

委員長には 武智唯浩さん(川合1)が選出

6月6日(火)、第7次農業振興計画策定のため、第1回農業振興計画検討委員会を開催、設置致しました。

農業振興計画検討委員会は、部会長会や各生産組織並びに女性部、青年部より選出頂いた35名の代表と、職員プロジェクトチーム(職員PT)26名の、合計61名により組織されており、第1回目となる検討委員会では、検討委員のチーム割やチームリーダーの選出が行われ、委員長には、川合1地区の武智唯浩さんが選出されました。(各チームのリーダー並びに検討委員は下表の通り)



第1回農業振興計画検討委員会の様子

今後、町内2JA合併後の事業運営を円滑に展開するため「新JA構想」や、JA北海道大会決議事項(農協自己改革)、協同組合の経済原理である公益を基本とした振興計画を策定して頂く事となり、検討委員の皆様におかれましては、農作物など大変お忙しいとは存じますが、将来の池田町農業や農家経営、農協経営の進むべき方向を指し示す、新たな振興計画づくりにご協力頂きますようお願い申し上げます。

(記事・常務 大塚 節)

検討委員会名簿(検討委員35名、職員26名、合計61名)

※委員長 武智唯浩氏

チーム	チームリーダー	検討委員(※敬称略)					職員PT	チーム合計
営農	小野田隆彦	神谷輝俊	永原和敏	河口賢悟	十河耕大	樋口圭洋	営農部4名	13名
		伊賀みさ子	塩谷節子	武智富子				
管理	武智唯浩	市川法康	堀井浩明				管理部3名	6名
金融	穂田裕幸	石澤裕	島田伸一				金融部3名	6名
販売	産産	窪田満穂	榎澤達也	坂東敦	穂田正也	甘利充	農産部6名	12名
	畜産	石井康幸	宮前裕治	朝川知輝	野尻祐二		畜産部3名	7名
購買	村中秀樹	多田勝	守内薫	白川智紀	守内拓司	林雅嵩	購買部7名	17名
		塚谷昌輝	林真弓	金川貴美	神谷真寿美			

※職員PT=職員による振興計画プロジェクトチーム



「マルチの穴あけやりたい人?」「はい!」



十河さんによるマルチ
穴あけ作業の説明

6月10日(土)



第2回目作業



苗植え頑張ってー!



穴あけ上手だね

第2回目作業を終えて

6月10日(土) 予定通り食育活動が行われました。今にも雨が降り出しそうな空と、とても寒い恵まれない日ではありましたが、15組の家族が食育に参加してくれました。

今回の作業はサツマイモ3品種、カボチャ4品種の苗植えを行いました。子供たちは順々に畑に入ってマルチに穴を空けて、そのなかにカボチャを植えていきました。サツマイモは青年部の人から苗をもらって畑の中に植えていきました。みんな元気よく楽しそうに作業をしていたので、最後まで雨が降ることなく作業を終えることができました。

私は今年で食育2年目ですが、子供たちが自分たちの手で作物を植えて収穫までするので、作物を作る喜びや、収穫した時の達成感などが学べてとても良い事業だなと感じました。次回は遂に収穫ですので、子供たちの喜ぶ顔を見るのがとても楽しみです。

(記事・青年部員 梅村信輔)

第2回 みのり塾開講

6月8日（木）に第2回みのり塾が開催されました。今回のみのり塾は十勝農業改良普及センターの「ヤングファーマーズ講座」の研修に参加させて頂き、当農協から5名の塾生が受講しました。

＜研修内容＞

講 座 内 容	講 師
「若者へのエール」	指導農業士 黒沼茂樹氏（幕別町）
焼 肉 交 流 会	
「病虫害防除の基礎」	普及センター 檜村主査・川岸専門主任
「泌乳生理と搾乳衛生」	普及センター 荻野職員

第2回 みのり塾講義を終えて

千代田地区 原 誠 さん

6月8日（木）に第2回みのり塾が行われました。今回は普及センターで行われたヤングファーマーズ講座の研修に参加しました。

午前中は幕別で農業をされていて指導農業士でもある黒沼茂樹さんの講演がありました。まず講演の最初にしたことは、笑顔であいさつをすることでした。これは当たり前のことだと思いますが、相手に対する印象付けが大事だということを学びました。黒沼さんの色々な経験談も聞けてとても勉強になりました。

午前の講演が終わったあと、場所を移動して、ヤングファーマーズの方々と一緒に焼肉交流会が行われました。ヤングファーマーズには幕別・豊頃・浦幌の3町から若手農業者が集まったため、他の地域の方とお話しが出来、有意義な時間を過ごせました。

その後、午後からは農産と畜産で別れ、講演が行われました。僕は農産の「病虫害防除の基礎」について勉強しました。主な作物の病虫害や防除をする上での注意点など学ぶことができたので今後の農作業に役立てていきたいです。

今後もみのり塾が開催される予定なので、積極的に参加していきたいです。



受講の様子



講師 指導農業士 黒沼茂樹氏（幕別町）

女性部

2JA夏期交流会

6月8日（木）に、高島農協と合同で夏期交流会を開催いたしました。池田18名・高島7名の部員が参加し、個人戦の輪投げとチーム戦のユニカールと、今回は羽根っこゲームを新しく増やしてみんなで楽しみました。

ユニカールは、カーリングの室内ゲームで、3人1組でプレーしました。各チーム必ず2試合以上できるよう敗者復活戦有りのトーナメントで競い、羽根っこゲームも同じ3人でチームを組み、Aブロック・Bブロックに分かれて点数制で競い合いました。どのゲームも大いに盛り上がり、笑いありで楽しく交流をすることができました。

優勝者には、両農協の組合長より組合長賞が贈呈され、ユニカールは、十河明美さん・野尻秀子さん・村中幸恵さんチームに、羽根っこゲームは、中西邦江さん・萬貴美恵さん・原静子さんチームに、輪投げは、9投2回の合計得点で73点を記録した萬貴美恵さんへとそれぞれ賞品が授与されました。

昼食会場を清見の青翔亭に移し、お昼から参加した方も加わって、焼肉を楽しみました。

（記事・営農課 豊原英梨）



ユニカールの決勝戦

バックヤードから店内の説明を受ける様子



フレッシュミズ

フレッシュミズ
士幌方面へ！

6月15日（木）に会員12名の参加にてフレッシュミズ1日研修を開催しました。

研修先はAコープ士幌店A S P Oで、今年の2月15日に新しく建て直してオープンされたと聞いて見学して参りました。

営業時間は夏場と冬場で閉店時間が違い、消費者の需要に応じて時間を設定していました。また、通路の幅を広く取っていたり、サッカー台を低くして物を入れやすかったりといった工夫もありました。お客様からアンケートを箱に入れてもらい、商品の要望で日持ちしないもの以外は極力要望にも応えているそうです。

A S P Oのポイントカードは、現金チャージ機能も付いており、精算スピードも上がるし、チャージされることでその分の金額が確保できるという利点もあります。

バックヤードを見せてもらった後に、お買い物をしてもらい、その後近くのカフェブーオにて昼食を取りました。食事を取りながら楽しく話に花を咲かせた後は、リニューアルした道の駅に寄って、ソフトクリームやケーキを食べてから無事帰路に着きました。

（記事・営農課 豊原英梨）

白熱したソフトボール大会



青 年 部

銀河線ブロック スポーツ交流会

私が参入2年目にして初となる他JA青年部との交流が、6月9日（金）足寄でのスポーツ交流会となりました。

前日までの雨により競技種目がソフトボールになるか危ぶまれる

中、青年部一同、日ごろの行いの良さ（？）からか当日は晴天に恵まれ、無事ソフトボール大会が開催されました。

池田は今年も2チームでの参加となりましたが、両軍ともに善戦するもむなしく、初戦での敗北を期すこととなりました。

久々のスポーツに戸惑いましたが、運動する事から遠ざかっていた老いた体に喝を入れ直し、日々鍛錬を怠らず次回に期待したいと思いました。

試合後は懇親会が催され、お酒を交えながらの焼肉は部員たちの交流をより深め、貴重な時間となったことでしょう。若者達の農業へ対する熱い思いからは、銀河線ブロックの輝かしい未来を感じざるを得ません。

（記事・青年部員 1番セカンド 永原昭弘）

青 年 部

2JA青年部 女性交流会

6月24日（土）、JA十勝高島と共に行われている池田町2JA青年部女性交流会が開催されました。今年はJA十勝高島青年部が開催担当となり、イベント会社『ホワイトキー』に企画を依頼し、アパホテルのレストラン『フォーシーズン』で行われました。

今回は男女共に9名の方々に参加していただき、JA十勝高島の中村青年部長の開会の挨拶からスタートしました。1対1の自己紹介タイムでは若干の緊張感が会場を包みましたが、その後のフリータイムからは緊張も溶けてきた様子で、気になる女性と積極的にコミュニケーションを取っていました。今回のビンゴゲームでは異性の参加者全員と会話をしなければならない様な仕組みがあったり、カードを使った性格診断・相性診断があったりと最後まで本当に盛り上がりおりました。最終的に4組のカップルが誕生して閉会しました。今回は若干参加者が少なかったですが、参加して頂いた方々にとってはとても有意義な交流会になった事と思います。

（記事・青年部長 甘利 充）



アスパラ部会

アスパラ部会 視察研修会

6月16日（金）にアスパラ部会（部会長：穂田正也さん）は、JAおとふけで視察研修を行いました。

以前にもJAおとふけをはじめ、管内JAへ視察を行い、選別基準の確認や選果場見学を行って参りました。今回は、次年度の収量を大きく左右する、収穫後から越冬までの管理作業を研修致しました。

JAおとふけ生産者圃場を視察させていただき、1ha以上と当JA管内圃場の数倍の面積に圧倒されました。

収穫後の圃場では、病害防除や手取り除草が行われており、大きな面積でも非常にきれいな管理を行っておりました。その中でも、収穫後の防除を徹底して行うことで、株自体の力を保持する取り組みを行っておりました。

生産者同士の意見交換もすることができ、非常に有意義な研修会となりました。

（記事・農産課 三村太志）



研修会の様子

研修の様子



玉ねぎ部会

玉ねぎ部会 道内視察研修会

玉ねぎ部会（部会長：小原秀樹さん）は、道内産地を視察し、各産地での取組など意見交換する視察研修を毎年実施しております。今年は、6月12～13日にかけて、札幌・富良野方面への視察を行いました。

札幌市内の圃場では、JAさっぽろ担当者から石狩管内の作付状況や「札幌黄」の栽培管理の難しさを教えて頂きました。「札幌黄」は古くからの札幌在来品種の為、生育にムラが出やすく栽培が難しいとのことでした。また、日持ちしない品種の為、収穫後の12月中には販売を終了しているとお話されておりました。

富良野では無農薬栽培に取り組まれている生産者の圃場を視察し、無農薬栽培の管理について学びました。無農薬栽培を行うには雑草処理など手作業での圃場管理が増えるため、大きな面積で取り組むことは難しいとのことでした。

視察研修を通し、当JAの生産者からは安心・安全に向けた栽培管理を目指し熱心に質問する姿が見受けられました。生産者一丸となって消費者により良い商品を生産しようと改めて確認することができた研修となりました。

（記事・農産課 岡田雄貴）

年金友の会

年金友の会第40回PG大会開催される ～野尻信夫さん 惜しくも大会4連覇を逃す!～

年金友の会では、6月6日に第40回パークゴルフ大会を清見ヶ丘パークゴルフ場で開催しました。当日は34名の参加があり10組に分かれ全2コースで行われました。大会当日は天候にも恵まれ、参加者の皆さんは日ごろの練習の成果を十分に発揮できたことと思います。ただ、コースを回っている時は、「今日は駄目だ」とか「歩き疲れて足が痛くなった」など弱音を漏らす場面もありましたが、約2時間のプレーを楽しんでおりました。

勝負の方は、男性の部で大会4連覇に挑んだ野尻信夫さんでしたが、累積されたハンデキャップのため優勝こそ逃しましたが、それでも4位の好成績を収められました。大会は丹羽幹夫さんご夫妻のアベック優勝で幕を閉じました。参加された皆様大変お疲れ様でした。

尚、今大会の成績優秀者は次の通りでした。

【男性の部】 優勝＝丹羽 幹 夫 さん 準優勝＝小 南 正 弘 さん 第3位＝横 田 保 則 さん

【女性の部】 優勝＝丹羽 久 子 さん 準優勝＝吉 田 繁 子 さん 第3位＝北村恵美子 さん

次回は8月25日を予定しております。多くの方のご参加をお願い致します。

(記事・営農課 高山信雄)

入賞者の皆さん



グループワークの様子



管 理 課

タイムマネジメント 研修会を開催!

一般職員を対象としてタイムマネジメント研修会を、北海道生産性本部臨時講師松岡直人氏を講師として招き、5月25日(木)農協

本所大会議室にて職員31名の出席者のもと開催いたしました。

今回のタイムマネジメント研修会は、職員が抱えている業務の課題。

「いくつか業務がある際、どれから手をつけていいのかわからなくなってしまう」

「業務の優先順位をつけながら仕事をしているが、突発的な対応で時間通りに進まない」

「業務に追われて仕事が終わらない、終業時刻に帰宅したい」

等の解消のために、タイムマネジメントの基礎、自分の管理の重要性、時間の上手な使い方など、仕事を効率的に進めるための時間管理など、働き方の改善に向けた研修会を実施いたしました。

研修会では、

- ・「時間」そのものは、現実には管理できない(時間は流れる、デッドライン効果活用)
- ・管理できるのは、仕事や行動(TODOリストの作成)
- ・仕事を管理するとは、考え方や行動を変えること(段取り、突発的な対応を予見する)
- ・適正なスケジュールを立てる(優先順位をつける)
- ・PDCAサイクルで仕事をすすめる(仕事の目的と成果を明確にする)

などを研修いたしました。

今後は、仕事の改善に向け、職員一人ひとりが時間の大切さを認識して、集中力を高めて業務に取組んでまいります。

(記事・管理部長 花本 敦)



青年は尊徳を手本に 「働き・勉強」せよ

報徳は現代に通用しないと言
う人がいるが、尊徳の時代の幕
末窮乏が現代の経済情勢とは余
りにもかけ離れており、政治も
経済もほとんど野放しの状態で
困苦艱難してやった結果、偉大
な業績を残したことを知らない
人の言い分だと思う。

だから、今日の農漁村の青年
はそれと比べたら、制度が整い
過ぎていて、他力本願になる恐
れさえあるくらいだ。何も悲観
する事はない。とにかく青年は
「働かなければいけない」そし
て「勉強しなければいけない」

(安藤孝俊)

(北海道報徳情報 報徳生活読本)

金融共済課より

共済サンキューあんしん強化週間の終了とお礼について

6月12日(月)～14日(水)までの3日間、共済サンキューあんしん強化週間を実施致しました。農作業で大変お忙しい中、共済サンキューあんしん強化週間に3日間、対応いただきまして誠にありがとうございました。

今後とも皆様の営農や生活を守るべく対応させていただきます。いつでもお気軽にご相談ください。



店 舗 よい

Aコープチェーン店の特売チラシが 「TON×TON」で見られます!

いつもAコープ利別店をご利用いただき大変ありがとうございます。

店舗運営協力委員会や女性部・フレッシュミズを対象にした店舗運営に係るアンケートで、「特売チラシをスマホで見られるようになると良い。」「TON×TONにAコープの広告を載せられないか」とのご意見をいただきました。

Aコープチェーン店常広ブロック協議会で検討し、6月1日より「TON×TON」の掲載サービスに登録し、Aコープのチラシを掲載しておりますので、ご利用ください。

※「TON×TON」は地域限定のお店や団体、施設の情報が掲載されているサイトで、チラシ情報をインターネットやスマートフォンでお客様に伝える事が出来ます。

ご利用はこちらから



生産資材課より

来年度用春肥料値下げ 早期予約とりまとめ開始します！

いつも生産資材課事業の運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。

7月11日より3日間、生産資材課・指導チームにて「来年度用春肥料」早期予約とりまとめ巡回推進を実施させていただきます。今年度の肥料価格につきましては、肥料原料の値下がりや世界的な需給状況の緩みにより、加重平均価格は前年比で3.1%の値下げとなります。単肥では尿素で4.1%（40円/20kg）の値下がりの他、複合肥料につきましても20kg当たり約50円から100円前後の値下がりとなります。

農協では肥料の予約申込みをいただくことで、予約引取奨励の対象となり有利な価格により購入することができます。12月までに引取りされた方が有利ですが、**来春の引き取りでも奨励金の対象となります**。お忙しいことは存じますが職員が訪問した際は対応の程よろしくをお願いします。

1. 早期予約引取奨励

①対象肥料 系統の化成肥料、B B 肥料

②奨励措置 **50円/20kgにつき（単肥は10円）**

※8月末日までの予約にて申し込まれた系統肥料で、平成30年6月末日までに引き取りされた数量に対して奨励します。

早期予約第1回目申込期日：平成29年8月31日

※第2回目申込期日11月30日、この場合は上記奨励金単価が30円/20kgとなります

2. フレコンバック奨励

①対象肥料 上記の肥料で400kg・500kgのフレコンバック

②奨励措置 **20円/20kgにつき**

※早期予約で申し込まれた系統肥料のうち、平成29年9月末日までに引き取りされたフレコンバックに対して奨励します。

3. 限月格差特別奨励

肥料価格は四半期毎に分かれており、肥料年度の始まる6～9月が最も安く、翌年の4～5月が最も高くなっています。当JAでは6～12月までのお引き取りに対しては、最も安い6～9月の価格でお渡しする特別奨励を実施しています。

＜例＞BBS662の引き取り価格（税別）

	6～9月	10～12月	1～3月	4～5月(当用期)
＜通常の価格＞	1,520円	1,545円	1,575円	1,600円
＜農協奨励価格＞	1,520円	1,575円	1,575円	1,600円

奨励金を上手に利用しましょう！！

早期予約奨励 50円 + フレコンバック奨励 20円 + 限月格差 80円 = 150円

早期予約をしてフレコンバックで9月末日までに引き取りを行った場合は、当用期に20kg袋で引き取った場合と比べて1袋当たり150円も安くなり大変お得となります。

○クミカン起算日（サイト）：平成30年6月20日

○H29肥奨励金戻し時期：平成30年11月末頃

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28.12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。



JA北海道信連

5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに応じていく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。



ホ ク レ ン

ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、202台を数えることとなります。

今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し皆様の為に貢献して参ります。



JA北海道厚生連

北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいです。

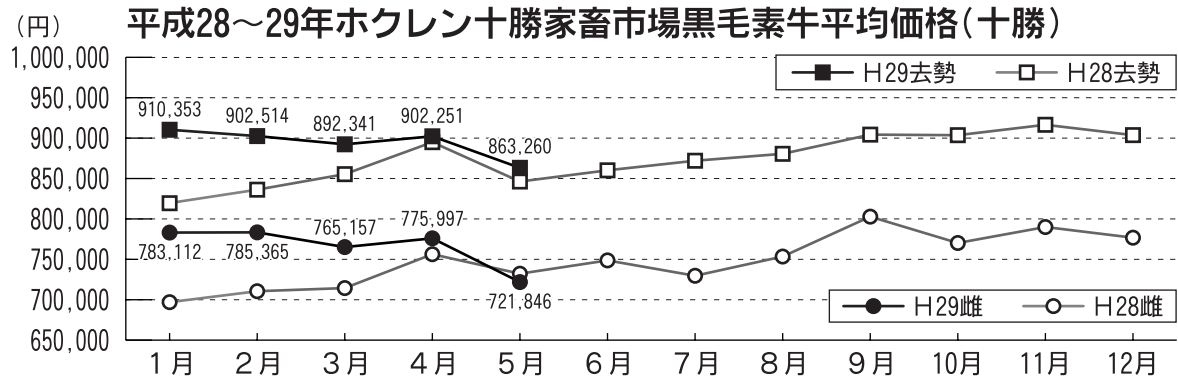
JA²MP（ジェイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場しますので、皆さん是非会いに来てくださいね。





畜産部通信

畜産部
畜産課



5月黒毛素牛出荷区分別成績

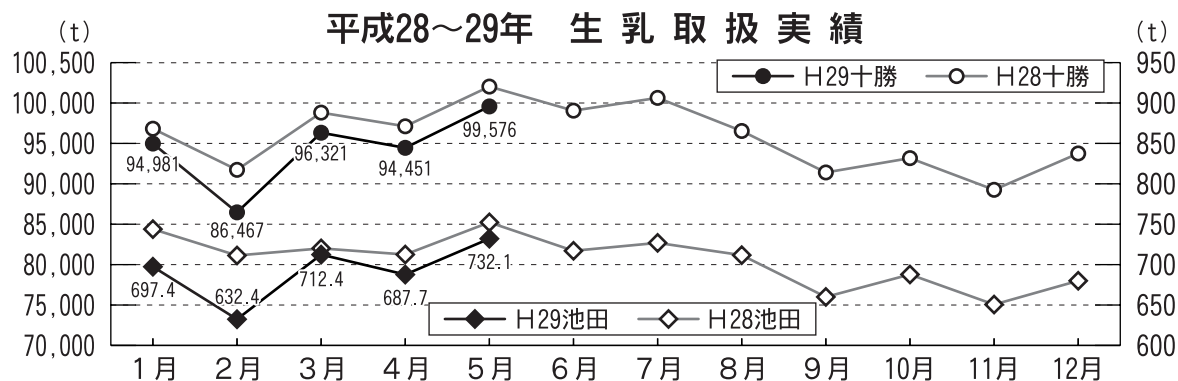
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	699	863,260	
	マニュアル参加牛	432	877,670	61.8
	マニュアル認定牛	50	942,883	11.6
池田	和牛素牛	27	841,520	
	マニュアル参加牛	24	832,230	88.9
	マニュアル認定牛	3	871,920	12.5
十勝	和牛素牛	457	721,846	
	マニュアル参加牛	300	722,844	65.6
	マニュアル認定牛	12	829,710	4.0
池田	和牛素牛	24	686,160	
	マニュアル参加牛	24	686,160	100.0
	マニュアル認定牛	1	691,200	4.2

5月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税抜)
13日	黒毛去勢	A-5	2,381
		A-4	2,202
		A-3	1,996
	黒毛メス	A-5	2,400
		A-4	2,189
		A-3	1,861
	F1去勢	B-3	1,349
		B-2	—
	F1メス	B-3	1,444
		B-2	1,225



5月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	428	587,881
9日	乳牛初妊	363	921,841
	乳牛経産	58	502,274
24日	乳牛初妊	362	904,246
	乳牛経産	52	468,658

5月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	126,927
F1オス初生	326,311
F1メス初生	226,490
廃用牛	176,586



様舞地区
増野幹也さん
(22歳)



プロフィール

父・隆教さん、母・明美さん、祖父・光廣さん、祖母・典子さんの5人で畑作を営む。
小麦・ビート・大豆・小豆・大黃・種イモの生産を行っている。
今年で就農3年目。

中 学生の頃には農家を継ぐと決めました。と話してくれたのは、今年で就農3年目を迎える増野幹也さん。幹也さんは増野家の長男で、将来は農家を継がなければいけないという思いはあったとのこと。ただ、就農を決めたのは、「小さいころから家族の仕事を見てきて、農業という仕事に魅かれたのが一番の理由」と話す。

池田高校を卒業した後は深川にある拓殖短期大学に進学し2年間就学。大学生時代には、「フオークリフト・玉掛け・車両系建設機械（整地等）・小型移動式クレーン・危険物取扱者乙種4類」と数多くの資格を取得。「将来農家を継いだときに役に立つと思い、色々と資格を取りました。」と勉強熱心な幹也さん。

農 作業は父・隆教さんや祖父・光廣さんのサポートをしながら勉強中の幹也さん。農作業で大変なことについて聞くと、「トラクターの運転が難しい。特に自分の家の畑は傾斜が多いので、まっすぐ作業機を走らせるのが難しい。たくさん乗って慣れたいです。」と意気込む。

農業の魅力についてお話を聞くと、「自分はまだ1〜10まで作業をしていないので、このようなことをいうのもおこがましいですが」と前置きし、「どうすれば良い物が出来るのかを考えて工夫し、それが結果として出た時。そこにやりがいや、魅力を感じる。」そして、「良い物を作るのが生産者の使命だと思います。」と熱く語る。

青 年部には父から、「入ってみたらどうだ？青年部に入って交流を深めたら将来役に立つ。」と話され入部を決断。青年部に入ってみてどうですか？と聞くと、「普段交流の無い人と話したり、研修では普段行けないようなところに行くと、見たこともない物を見て、とても勉強になります。」

最 後に今年度の意気込みを聞くと、「早く仕事を覚える。そして効率よく仕事ができるように頑張りたい。」と話してくれた。



青年部食育事業で穂がまの使い方を教える幹也さん

理事会の動き

第 4 回

〈平成29年6月27日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入、脱退、資格変更について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (4) 3Qあんしん強化週間（長期共済一斉推進）について
- (5) 内部審査及び内部監査報告について
- (6) コンプライアンス事故報告及び改善策について
- (7) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (8) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」の報告について
- (9) 職員に対する夏期手当の支給について
- (10) 職員の懲戒処分について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分減口承認願いについて
- (2) 職員就業規則及び準職員就業規則の一部改正について
- (3) 職制規程の一部改正について
- (4) 定年退職者再雇用規程の一部改正について
- (5) 育児及び介護休業規程の一部改正について
- (6) 福利厚生規程の一部改正について
- (7) ハラスメント防止規程の制定及びセクシャルハラスメント防止規程の廃止について
- (8) 個人情報保護方針及び個人情報保護法に基づく公開事項等の一部改正について
- (9) 個人情報取扱規程の一部改正並びに従業員個人情報取扱規程の廃止について
- (10) コンプライアンス規程の一部改正について
- (11) 平成28年度組合の業務及び財産の状況に関する説明資料（ディスクロージャー誌）について
- (12) 自治監査報告書について
- (13) 平成29年産小麦乾燥調整取扱要領・自主検定実施要領の設定について
- (14) 固定資産の取得について

今月の1枚



新緑祭製品づくり

今月の1枚は、6月21日（水）に農業技術研究所で行われた食品加工サークルむぎ畑が新緑祭に出店する際の製品づくりの写真です。

ど味噌やトマトケチャップ、パウンドケーキ、ようかん、ドーナツを作り、新緑祭当日は大盛況となりました。

編集後記

最近、十勝管内で熊の目撃情報が相次いでおります。当農協管内でも目撃されておりますので、外出の際は単独での作業を避けるなど十分注意をして下さい。また、熊を目撃しましたら、当農協営農部までお知らせ下さい。

今月号で、私が広報を担当してから2年が経ちました。今後も、皆様に見て頂ける・楽しんで頂ける広報誌を目指して頑張ります。広報誌について何かご意見・ご要望がございましたら、営農部の杉山まで是非お申し付け下さい。（杉山）